

展示No. 作者	作品名	制作年代	形状(員数・サイズなど)	所蔵	
特集 おしゃべりな顔					
102	歌川国芳	里すゝめねぐらの仮宿	弘化3年(1846)	大判錦絵三枚続	名古屋市博物館(高木繁コレクション)
103	未詳	新吉原仮宅	安政2年(1855)	大判二枚続 二枚	たばこと塩の博物館
104	歌川国芳	將軍太郎良門 蛙の力あそい	弘化元年(1844)頃	大判錦絵三枚続 一組	名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
105	歌川芳虎	肉芝道人蛙合戦	元治元年(1864)	大判錦絵三枚続 一組	名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
106	式亭三馬作、歌川豊国画	『道化節用 小野(竹愚) 諺字尽』	文化3年(1806)刊	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
107	歌川国丸	きいたふう ほか	文化文政年間(1804~30)	大判錦絵 一枚	個人
108	歌川国丸	おいらん ほか	文化文政年間(1804~30)	大判錦絵 一枚	個人
109	花笠文京填詞、歌川国芳画	『写生百面叢』	天保11年(1840)刊	紙本墨摺 二冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
110	土橋亭竜馬、扇好作、歌川国芳画	『百面相仕方ばなし』	天保13年(1842)刊	紙本墨摺 二冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
111	歌川国芳	戯画笑百面 まけせうぎ ほか	弘化元~2年(1844~45)頃	大判錦絵 一枚	個人
112	歌川国芳	百色面相 いのこり ほか	天保13年(1842)頃	大判錦絵 一枚	個人

113	柳下亭種員作、歌川国芳画	当年新案 延喜吉相百面双六	天保14~弘化3年(1843~46)	大判錦絵二枚継	個人
114	歌川国芳	猫の百面相	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚	個人
115	歌川国芳	二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)	大判錦絵 一枚	個人

### 第五章 国芳のまなざし

116	山東京山作・歌川国芳画	『忠孝早染草』	弘化元年(1844)刊	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
117	歌川国芳	狂画化ものさかもり	天保10年代(1839~44)頃	大判錦絵 一枚	個人
118	歌川国芳	流行猫の狂言づくし 熊ヶ谷次郎直実ほか	天保12年(1841)頃	大判錦絵 一枚	個人
119	歌川国芳	見立猫見八貝(画稿)	天保12~13年(1841~42)頃	紙本墨画 一枚	個人
120	歌川国芳	猫身八毛意	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵 一枚	個人
121	歌川国芳	からす猫夜のあめ 白のぼせて	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵 一枚	個人
122	歌川国芳	三段目	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵 一枚	個人
123	歌川国芳	たこさかな	天保12~13年(1841~42)頃	団扇絵 一枚	個人
124	歌川国芳	双蝶々曲輪日記 角力場	天保13年(1842)	団扇絵 一枚	個人
125	歌川国芳	当流猫の六毛撰	弘化元~3年(1844~46)	団扇絵 一枚	個人
126	歌川国芳	流行猫の戯 道行 猫柳淫月影	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	個人
127	歌川国芳	流行猫の戯 梅が枝無間の真似	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚	個人
128	歌川国芳	国芳もやう 正礼附現金男 野晒悟助	弘化2年(1845)頃	大判錦絵 一枚	個人
129	歌川国芳	絵鏡台合かゝ身 猫	天保13年(1842)頃	団扇絵二枚組のうち一枚	個人
130	歌川国芳	猫の当字 かつを	天保14年(1843)	大判錦絵 一枚	個人
131	歌川国芳	猫の当字 たこ	天保13年(1842)頃	大判錦絵 一枚	個人
132	歌川国芳	猫の当字 なまづ	天保14年(1843)	大判錦絵 一枚	個人

### 終章 もしも…。

133	歌川国芳	『枕边深閨梅』下巻口絵	天保9年(1838)	紙本色摺 一枚	個人
134	山東京山作・歌川国芳画	『臚月猫の草紙』二編	天保13年(1842)刊	紙本色摺 一枚	個人
135	歌川国芳	流行猫の曲手まり	天保12年(1841)	大判錦絵 一枚	個人

# もしも猫展

## I DREAM CATS COULD BE US.

2023.  
**9/23**<sup>土祝</sup>~**11/12**<sup>日</sup>  
**THE MUSEUM OF KYOTO** **京都文化博物館**  
〒604-8183 京都市中京区三条高倉  
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

**開室時間** 10:00~18:00（金曜日は19:30まで）※入場はそれぞれ30分前まで  
**休館日** 月曜日(ただし、10/9は開館)、10/10  
主催：京都府、京都文化博物館、読売テレビ 協力：名古屋市博物館 後援：(公社)京都府観光連盟、(公社)京都市観光協会、KBS 京都、エフエム京都  
※出品作品は予告なく変更する場合があります。 ※リストの順番と展示の順番は一致していません。  
※No.が黒丸(●)白抜き作品は会期中に場面替を行います。前期は9月23日~10月15日、後期は10月17日~11月12日です。 歌川国芳「流行猫の曲鞠」(部分) 個人蔵

展示No. 作者	作品名	制作年代	形状(員数・サイズなど)	所蔵
----------	-----	------	--------------	----

### 序章 猫を描く人

1	落合芳幾	国芳死絵	文久元年(1861)	大判錦絵 一幅	名古屋市博物館(高木繁コレクション)
2	歌川国芳	たとえ尽の内	嘉永5年(1852)	大判錦絵三枚続のうち右、左 二枚	個人

### 第一章 くらべてみる

3	歌川国芳	流行猫の曲鞠	天保12年(1841)	大判錦絵 一枚	個人
4	錦江斎春艸	墨摺報条 風流曲手まり	天保12年(1841)	紙本墨摺 一枚	個人
5	歌川国芳	猫の曲鞠	天保12年(1841)	団扇絵 一枚	個人
6	未詳	新版玉のり尽	明治28年(1895)	大判錦絵 一枚	個人
7	歌川国利	新版猫の玉のり	明治28年(1895)	大判錦絵 一枚	個人
8	未詳	いろは身振絵	明治29年(1896)	大判錦絵 一枚	名古屋市博物館
9	歌川芳藤	いろは替手本	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
10	歌川芳春	猫角力あそび	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚	個人
11	葛飾北斎	ちからおびしめこみのかたち ほか 『北斎漫画』十一編	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨摺淡彩摺 一冊	名古屋市博物館

### 第二章 擬人化の効能

12	無住道暁著	『沙石集』	弘安6年(1283)成立、貞享3年(1686)刊	紙本墨摺 一冊	名古屋市博物館
<b>13</b>	未詳	鼠草子絵巻 卷三・巻五	室町~桃山時代(16世紀後半)	紙本着色 五巻のうち二巻	サントリー美術館
14	未詳	『鶴のさうし』下	江戸時代前期(17世紀)	紙本着色 一冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
15	未詳	鶏鼠物語絵巻貼付屏風	江戸時代前期(17世紀中頃)	紙本着色 六曲一双	名古屋市博物館
16	山本梅逸	虫行列図	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本淡彩 一幅	名古屋市博物館
17	未詳	大津絵 猫と鼠の酒盛	江戸時代中期(18世紀前半)	紙本着色 一幅	個人
18	歌川国芳	心学雅絵得 猫と鼠	天保13年(1842)頃	中短冊判錦絵 一枚	個人
19	仮名垣魯文作・歌川芳盛画	『昔咄猿蟹合戦』	安政3年(1856)刊	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
20	笠亭仙果作・森川高国画	『うさぎ大てがら』	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨摺 一冊	名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
21	歌川国芳	道外十二支	安政2年(1855)	中判錦絵 十二枚揃	名古屋市博物館(高木繁コレクション)
22	鎌形惠斎(北尾政美)	大小曆 猫妊婦と馬女	文政5年(1822)	13.1×15.9cm 一枚	個人
23	歌川国芳	道化獣の雨やどり	天保13年(1842)頃	大判錦絵 一枚	個人
24	月岡芳年	猫鼠合戦 犬張子・鼠おとし	安政6年(1859)	中判錦絵二丁掛 一枚	個人



展示No. 作者	作品名	制作年代	形状(員数・サイズなど)	所蔵
第二章 擬人化の効能				
25	歌川広重	猫の饜節渡り 釣狐	天保13年(1842)頃	中判錦絵二丁掛 一枚 個人
26	二代歌川広重	いさましき虎の世渡り	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚 個人
27	歌川国芳	駒くらべ盤上太平棋	天保14年(1843)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
28	河鍋晝斎	狂斎百狂 どふけ百万編	元治元年(1864)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館
29	昇斎一景	開化因循興発鏡	明治6年(1873)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(中村新三コレクション)
30	四代歌川国政	兔の踊り	明治6年(1873)	大判錦絵二枚続 一組 名古屋市博物館
31	未詳	鯨大尺の遊び	安政2年(1855)	大判錦絵 一枚 たばこと塩の博物館
32	未詳	大なまづねこのたはむれ	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚 個人
33	歌川芳豊か	飲食養生鑑	安政年間(1854~60)頃	大倍判錦絵 一枚 たばこと塩の博物館
34	歌川芳豊か	房事養生鑑	安政年間(1854~60)頃	大倍判錦絵 一枚 たばこと塩の博物館
35	月岡芳年	教訓善惡図解 家を大切にする息子 家蔵を失ふ息子	明治13年(1880)	中判錦絵二丁掛 一枚 名古屋市博物館
36	望斎秀月	新板ねこの温泉	明治18年(1885)	大判錦絵 一枚 個人
37	歌川国芳	玉取り	弘化3~嘉永元年(1846~48)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館
38	歌川国芳	龍宮玉取姫之図	嘉永6年(1853)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
39	歌川国芳	龍宮城 田原藤太秀郷に三種の土産を贈	安政5年(1858)、制作は嘉永6年(1853)頃	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
<b>40</b>	未詳	百鬼夜行絵巻	江戸時代前期(17世紀後半)	紙本着色金泥 一巻 個人
<b>41</b>	未詳	化け猫草子絵巻	江戸時代中期(17世紀後半~18世紀前半)	紙本着色 一巻 個人
42	歌川国芳	日本駄右エ門猫之古事	弘化4年(1847)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
43	歌川国貞(三代豊国)	東海道五十三次之内 白須賀 猫塚	嘉永5年(1852)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
44	山東京伝作・歌川豊国画	『腹筋逢夢石』初編	文化7年(1810)刊	紙本墨摺 一冊 名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
45	東西庵南北作・二代北尾重政画	『身振いろは芸』初編・二編	文化8年(1811)刊、文政12年(1829)再版	紙本墨摺 二冊 名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
第三章 おこまものがたり				
46	楽亭西馬作・歌川貞秀画	『寿狐の嫁入』	江戸時代後期(19世紀前半)	紙本墨摺 一冊 名古屋市蓬左文庫
47	浮田一憲	狐嫁入図	嘉永2年(1849)	絹本着色 一幅 名古屋市博物館
48	高力猿猴庵著画、小田切春江転写	むさんど 狐の嫁入 『御鞆祭真景図略』巻一	文政10年(1827)頃、文政11年転写	紙本着色 一冊 名古屋市博物館
49	南仙笑楚満人作・鳥居清峰画	『猫のそふし』	文化3年(1806)刊	紙本墨摺 一冊 個人
50	山東京山作・歌川国芳画	『臘月猫の草紙』	天保13~嘉永2年(1842-49)刊	紙本墨摺 十七冊六枚 個人
51	歌川国芳	忠孝加々見山	弘化4年(1847)	大判錦絵三枚続 一組 個人
52	山東京山作・歌川国芳画	『臘月猫の草紙』六編	嘉永元年(1848)刊	紙本墨摺 二冊 個人
53	歌川国芳	流行猫の戯 かゞみやな 草履恥の段	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚 個人
54	仮名垣魯文作・歌川芳虎画	『花裘狐草紙』初編・二編	文久2年(1862)刊	紙本墨摺 四冊 名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
55	仮名垣魯文作・歌川芳虎、落合芳幾、月岡芳年画	『黄金花猫目鬘』	文久3~明治元年(1863~68)刊	紙本墨摺 十七冊七枚 個人
56	高畠藍泉(三代柳亭種彦)作・望斎秀月画	『春色黄金花』	明治17年(1884)刊	紙本活版刷 一冊 個人
57	歌川芳藤	しん板猫のよめ入	明治16年(1883)	大判錦絵 一枚 個人
58	歌川国利	しん板猫のはなし	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚 個人
59	歌川国利	流行ねこの温泉	明治14年(1881)	大判錦絵 一枚 個人
60	歌川芳藤	新板猫の温泉	明治21年(1888)	大判錦絵 一枚 個人
61	小林幾英	新板猫の勉強学校	明治20年(1887)	大判錦絵 一枚 個人
62	作者未詳	しん板猫の小学校	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚 個人

展示No. 作者	作品名	制作年代	形状(員数・サイズなど)	所蔵
63	未詳	大新板猫のいしよう付	明治(19世紀後半)	大短冊判錦絵 一枚 個人
64	歌川竹子	猫の踊り	明治13年(1880)	大判錦絵 一枚 個人
65	歌川芳藤	しん板どうけかつらつけ	明治(19世紀後半)	大判錦絵 一枚 個人
66	芦原国直	新板猫相撲づくし	明治18年(1885)	大判錦絵 一枚 個人
67	四代歌川国政	新板猫の花見	明治11年(1878)	大判錦絵 一枚 個人
68	小林幾英	猫の運動尽	明治20年(1887)	大判錦絵 一枚 個人
69	小林幾英	新板階のりのづ	明治17年(1884)	大判錦絵 一枚 個人
70	歌川国利	新板猫の料理茶や 但し山下のかんなべ	明治16年(1883)	大判錦絵 一枚 個人
71	未詳	新板猫の海水浴行	明治32年(1899)	大判錦絵 一枚 個人
72	歌川国芳	八代目市川团十郎死絵	嘉永7年(1854)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
73	歌川国貞(三代豊国)	美人合 春曙	文政年間(1818~30)後期	大判錦絵 一枚 個人
74	月岡芳年	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女の風俗	明治21年(1888)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館
75	歌川国芳	初雪の戯遊	弘化4~嘉永元年(1847~48)	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
76	月岡芳年	見立多以尽 とりけしたい	明治11年(1878)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
77	歌川広重	名所江戸百景 浅草田圃西の町詣	安政4年(1857)	大判錦絵 一枚 個人
78	歌川国芳	三ツの猿夜の賑ひ	弘化4~嘉永3年(1847~50)	大判三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)

## 第四章 人、猫になる

79	歌川国芳	猫の百面相 荒獅子男之助ほか	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚 個人
80	歌川国芳	四代目中村歌右衛門死絵	嘉永5年(1852)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)
81	歌川国芳	猫の百面相 忠臣蔵	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚 個人
82	歌川国芳	乱朝恋山崎 上の巻 坂東しうかのあづま 十二代目市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)	大判錦絵三枚続 一組 個人
83	歌川国芳	十二代目市村羽左衛門の与五郎 二代目市川九蔵のあわしま庄太夫	天保12年(1841)	大判錦絵二枚続 一組 個人
84	歌川豊国画	『戯場役者似顔画早稽古』	文化14年(1817)序	紙本色摺 一冊 名古屋市蓬左文庫(尾崎久弥コレクション)
85	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ書 月もといなばの助 ほか	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚 個人
86	歌川国芳	荷宝蔵壁のむだ さやあて	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館
87	歌川国芳	猫のおどり	天保12年(1841)頃	団扇絵 一枚 個人
88	歌川国芳	鏡見山	天保13年(1842)頃	団扇絵 一枚 個人
89	歌川国芳	流行猫の戯 おしゆん伝兵衛 身の臭姪色時	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館
90	歌川国芳	流行猫の戯 袂糞気罵責段	弘化4年(1847)頃	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館
91	歌川国芳	つくものけん	弘化4年(1847)	大判錦絵 一枚 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
92	歌川国芳	亀喜妙々	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
93	歌川国芳	流行逢都絵希代稀物	嘉永元年(1848)頃	大判錦絵三枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
94	歌川国芳	浮世又平名画奇特	嘉永6年(1853)	大判錦絵二枚続 一組 名古屋市博物館(高木繁コレクション)
95	歌川芳藤	猫三びきの唄	嘉永2年(1849)	大判錦絵 一枚 個人
96	落合芳幾	虎の豹姿 戯遊鈴ヶ森	万延元年(1860)	大判錦絵二枚続 一組 個人
97	落合芳幾	手習鑑虎小家の段	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚 個人
98	落合芳幾	与ハなさけ浮名の横ぐし	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚 個人
99	落合芳幾	当世見立忠臣蔵	万延元年(1860)	大判錦絵 一枚 個人
100	月岡芳年	正礼附俳優手遊	文久元年(1861)	大判錦絵三枚続 個人
101	豊原国周、三代国重	当世見立凧つくし	慶応元年(1865)	大判錦絵三枚続 名古屋市博物館(尾崎久弥コレクション)